

2024 年度活動報告および 2025 年度活動計画 (EA 研究会)

企画担当幹事 坂東宜昭

1. 2024 年度活動報告

1.1 委員会について

2024 年度は下記の体制にて活動した(敬称略・五十音順)。

委員長:	小野順貴 (東京都立大学)	
副委員長:	西浦敬信 (立命館大学)	若山圭吾 (日本電信電話)
幹事:	伊藤信貴 (東京大学)	坂東宜昭 (産業技術総合研究所)
幹事補佐:	北村大地 (香川高等専門学校)	木下裕磨 (東海大学)
委員:	井本桂右 (同志社大学)	岩居健太 (立命館大学)
	岡本 学 (崇城大学)	加古達也 (日本電信電話)
	梶川嘉延 (関西大学)	喜多俊輔 (大阪産業技術研究所)
	木下慶介 (Google)	小泉悠馬 (Google)
	小松達也 (LINE ヤフー)	小山翔一 (国立情報学研究所)
	阪内澄宇 (日本電信電話)	佐々木陽 (日本放送協会)
	島内末廣 (金沢工業大学)	武岡成人 (静岡理工科大学)
	中村友彦 (産業技術総合研究所)	林田亘平 (パナソニック)
	藤坂洋一 (リオン)	古家賢一 (大分大学)
	松井健太郎 (日本放送協会)	宮崎亮一 (徳山高専)
	森川大輔 (富山県立大学)	李莉 (サイバーエージェント)
	渡邊貫治 (秋田県立大学)	

1.2 研究会の開催について

下表の通り、2024 年度は全 6 回の研究会を開催した。5 月はオンライン開催、7 月、8 月、11 月、12 月は現地開催、3 月は現地開催 (一部オンライン配信)にて開催した。6 月には、前年に引き続き情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムに協賛した。11 月には、前年度に引き続き学生セッションを実施し、電気音響研究会学生研究奨励賞を 1 名に授与した。12 月には、超音波研究会との併催で音響・超音波サブソサイエティ会議を開催し、音響・超音波サブソサイエティ学生研究奨励賞を 2 名に授与した。3 月研究会は、第 11 回 SPEASIP (音声・音響・信号処理ワークショップ)として開催し、議論を目的とした発展途上の研究発表や研究紹介を想定したショート・オーラル発表(APSIPA Japan Chapter 主催)を前年度に引き続き実施した。

開催月日			開催地	テーマ (一般は省略)	共催*1	件数	頁数	参加者数
月	日	曜日						
4			休会					
5	22		オンライン	応用／電気音響		9	20	25
6			休会					
	(14) (15)		(日本大学)		(情報処理学会音楽情報科学研究会音響学シンポジウムに協賛)			
7	6 7		北海道大学	応用／電気音響、聴覚、音声、音楽音響、音響教育	日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H)、音楽音響研究会(ASJ-MA)、音声研究会(ASJ-SP)、音響教育委員会共催	15	109	43 44
8	8/1 8/2		東北大学	応用／電気音響、聴覚	日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H) 共催	12	74	42 36
9			休会					
10			休会					
11	24 25		ウェルネスハウス SARAI	<ビギナーズセッション> 応用／電気音響、コンテンツ処理、情報ハイディング、聴覚	電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(IEICE-EMM)、日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H) 共催*2	21	116	39
12	20 21		大分大学	応用／電気音響、超音波	<音響・超音波サブソサイエティ合同研究会> 電子情報通信学会/日本音響学会超音波研究会(IEICE/ASJUS)(併催)	20	80	52
1			休会					
2			休会					
3	3/2 - 3/4		沖縄県青年会館	音声、応用／電気音響、信号処理	電子情報通信学会音声研究会(IEICE-SP)、信号処理研究会(IEICE-SIP)共催、情報処理学会音声言語情報処理研究会(IPSJ-SLP)連催	109	490	187
合計*3						186 (164)	889 (767)	559 (521)

*1 APSIPA Japan Chapter は毎回共催、IEEE SPS Tokyo Joint Chapter は毎回協賛

*2 電子情報通信学会北陸支部、日本音響学会北陸支部は、11月協賛

*3 括弧内の数字は昨年度の実績

1.3 研究発表会および大会の開催について

日本音響学会秋季研究発表会は関西大学、春季研究発表会は埼玉大学にて開催され、前年度に引き続き盛況であり、下記の講演件数であった。

2024 年秋季: 109 件 (うちポスター81 件)

2025 年春季: 98 件 (うちポスター69 件)

合計: 207 件 (うちポスター150 件)

また、電子情報通信学会ソサイエティ大会は日本工業大学、総合大会は東京都市大学にて開催され、下記の講演件数であった。

2024 年ソサイエティ大会: 7 件

2025 年総合大会: 10 件

合計: 17 件

2. 2025 年度 活動計画

2.1 委員会について

2025 年度の体制については、学会の承認が得られ次第、更新する方針であるが、新幹事団の体制は以下の予定である(敬称略・五十音順)。

委員長: 西浦敬信 (立命館大学)

副委員長: 小野順貴 (東京都立大学) 伊藤信貴 (東京大学)

会計幹事: 坂東宜昭 (産業技術総合研究所)

企画幹事: 井本桂右 (同志社大学)^{※新任}

幹事補佐: 北村大地 (香川高等専門学校) 木下裕磨 (東海大学)

専門委員については、以下の退任・新任者を予定している(敬称略・五十音順)。

[退任予定者]

井本桂右 (同志社大学) 岩居健太 (立命館大学)

岡本 学 (崇城大学) 阪内澄宇 (日本電信電話)

渡邊貫治 (秋田県立大学)

[新任予定者]

若山圭吾 (日本電信電話) 若林 佑幸 (豊橋技術科学大学)

2.2 研究会の開催について

下表の通り、2025 年度は全 6 回(オンライン、北海道、東北、北陸、中国・九州、未定)の研究会を開催する計画である。例年通り 6 月には情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムへの協賛も行う。音響・超音波サブソサイエティ合同研究会は、本年度と同じく 12 月に開催し、ポスター発表に対する音響・超音波サブソサイエティ学生研究奨励賞の選奨を実施する。

開催月日			開催地	テーマ (一般は省略)	共催*1*2	発表 件数 見込
月	日	曜日				
4			休会			
5			オンライン	応用/電気音響		10
6			休会			
					(情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムに協賛)	
7			北海道	応用/電気音響、 聴覚、音声、音楽音響、 音響教育	日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H)、 音楽音響研究会(ASJ-MA)、 音響教育委員会共催	30
8			東北	応用/電気音響、 聴覚	日本音響学会聴覚研究会 (ASJ-H) 共催	20
9			休会			
10			休会			
11			北陸	<ビギナーズセッション>応用/電気音響、 コンテンツ処理、情報ハイディング、 聴覚	電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・ エンリッチメント研究会 (IEICE-EMM)、 日本音響学会聴覚研究会(ASJ-H) 共催	30
12			中国・九州	応用/電気音響、 超音波	<音響・超音波サブソサイエティ合同研究会> 電子情報通信学会/日本音響学会超音波研究会 (IEICE/ASJ US) (併催)	20
1			休会			
2			休会			
3			未定	応用/電気音響、 音声、信号処理	電子情報通信学会/日本音響学会音声研究会 (IEICE/ASJ-SP)、 信号処理研究会(IEICE-SIP) 共催、 情報処理学会音声言語情報処理研究会 (IPJS-SLP)連催	60
合計						170

*1 APSIPA Japan Chapter は、毎回共催予定

*2 IEEE SPS Tokyo Joint Chapter は、毎回協賛予定

2.3 研究発表会及び大会の開催について

例年通り、日本音響学会秋季および春季研究発表会、ならびに電子情報通信学会ソサイエティ大会および総合大会のプログラム編成に関わる方針である。

以上